

1	議席番号 10 番 藤田 和寿 議員	開始予定時刻 9 月 9 日 午前 9 時
<p>【土地利用の推進について】</p> <p>町は、平成 19 年 12 月に吉田町第 2 次国土利用計画、平成 21 年 2 月に吉田町都市計画マスタープランを策定して、計画的な土地利用を進めています。</p> <p>しかし、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災による環境の変化により、都市整備環境は大きく変わったと考えます。</p> <p>また、人口急減及び超高齢化の克服と成長力の確保に向けた国の総合戦略を受けた地方創生の動き、具体的には「地方人口ビジョン」や「地方版総合戦略」の策定推進により、地域間競争が更に激しくなることが予想され、地域の実情と要求に即した土地利用の推進が今後ますます求められると考えます。</p> <p>そこで、土地利用の状況や今後の推進について以下町長にお伺いいたします。</p> <p>1 後期基本計画で「生活環境の調和と多様な機能を備えたまち」を目指し事業展開を図っていますが、土地利用の成果指標はどのような状況ですか。</p> <p>(1) 適正な土地利用に満足している割合は、平成 27 年度目標を 30%としているがいかがか。</p> <p>(2) 土地利用承認申請の承認件数について、平成 21 年度実績 14 件を平成 27 年度目標として 20 件としています。</p> <p>過去 5 年間の申請件数と承認件数の推移状況はいかがか。また、その状況の分析と対策はいかがか。</p> <p>2 有限の土地の活用と税収確保、そして雇用の拡大策として、健やかで活気ある都市づくりは、地域間で誘致競争が行われています。</p> <p>そして、特区や工場立地法など土地利用において緩和傾向にあると考えます。</p> <p>そこで、近隣市に比べ厳しいわが町の土地利用は、見直しの必要があると考えるがいかがか。(事業用敷地の緑化・調整池・隣接地の開発など)</p> <p>3 総合特区事業推進計画として内陸のフロンティアを拓く取組に参画し、物資供給拠点確保と企業活動維持支援事業は、津波防災まちづくりと共に土地利用の推進においても期待するところです。</p> <p>そこで、特区だけでなく町全体が持続的発展を目指し、第 5 次総合計画策定後に用途地域の見直しが必要と考えますがいかがか。</p>		

2	議席番号 3 番	大石 巖 議員	開始予定時刻 9月9日 午前10時
<p>【浜岡原発再稼働と広域避難計画について】</p> <p>中部電力(株)は昨年12月の4号機に続き6月16日に、3号機の再稼働に向けて新規規制基準に基づく審査を原子力規制委員会に申請した。</p> <p>浜岡原発は東海大地震の想定震源域の真上にあり、「世界で一番危険な原発」といわれている。</p> <p>2011年の福島第1原発での事故究明も進まない中、再稼働への不安が町民の中に広がっている。以下について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 浜岡原発の再稼働に対する町の見解は。 2 浜岡原発事故災害時の広域避難計画の策定状況は。 3 ヨウ素剤の配布状況は。 4 町民の多数が再稼働に反対もしくは不安を表明している。 町民のくらしと安全を守る立場から、町の今後の取り組み施策を問う。 			

3	議席番号 6 番	山内 均 議員	開始予定時刻 9月9日 午前11時
<p>【内陸フロンティア構想における賑わい創生と景観について】</p> <p>人が集まる魅力ある吉田町の構築における賑わいの創生と景観について、特に内陸フロンティア構想とエリアの環境整備についてお聞きします。</p> <p>最近、町長のメッセージの中で、「これから北区の革新が始まる、北区が変わる」という言葉がよく聞かれます。</p> <p>内陸フロンティアの核をなす防災公園と富士見幹線を挟んだ大型商業施設との関係、また、東名高速道路吉田インターと東名川尻幹線、富士見幹線等一連の賑わい創生計画との関係について発信されています。</p> <p>東名川尻幹線と大幡川幹線を結ぶ富士見幹線沿いには防災公園と大型商業施設を連携させ、災害時の物資供給拠点としての構想があり、内陸フロンティア内の防災エリアとしての整備計画が策定されているようです。</p> <p>興味があり意味あることと職業的にも納得するものであります。</p> <p>この内陸フロンティアの防災公園と富士見幹線や大型商業施設の敷地等からは、世界遺産となった富士山を望むことができます。</p> <p>また、このエリアは東名高速道路吉田インターチェンジから近距離にあり、大型商業施設は町内外から人を集める機能を持っています。</p> <p>面的構想は良く理解できます。</p> <p>空間としての構想も重要な集客要素ではないでしょうか。</p> <p>昨年の9月議会の一般質問で、景観法についての質問をしました。</p> <p>当町では、良好な景観形成を保全・創出するために、今後、景観行政団体への移行を目指して準備を進めてまいります。</p>			

また、静岡県は屋外広告物条例を施行して規制を行っている、との答弁をいただきました。

資料として、富士見幹線から望む富士山の景色と箱根町での景観法により規制された広告物の実例を参考例として添付しました。

そこで質問をします。

景観について。

- 1 景観行政団体への準備はされているのでしょうか。
- 2 賑わいの創出を演出するための広告物等の高さや色彩など、空間としての構想は考えていますか。

内陸フロンティア構想における、防災公園と大型商業施設を核としたエリアについて。

- 3 富士山が展望できる貴重な景観は、人を集める機能を持っていると思います。利活用すべきであると思います、いかがですか。
- 4 建物も木も広告物も富士山が展望できる高さにするのが望ましいと思いますがいかが考えますか。
- 5 東名高速道路吉田インターチェンジを繋げる開発の構想はどのように考えていますか。

4	議席番号 4 番 遠藤 孝子 議員	開始予定時刻 9月9日 午後1時
<p>【賑わい創出構想について】</p> <p>産業振興の拠点となる多目的広場を中心とした海浜回廊と内陸フロンティア推進区域などを都市計画道路により連携させ、沿岸部の防災対策と賑わいの創出構想の進捗状況についてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 富士山静岡空港や東名高速道路吉田インターチェンジから新たな人の流れをシーガーデンシティ構想に向ける計画はどのように具体化されていますか。2 榛南幹線からシーガーデン（多目的広場・海浜回廊）付近の商業施設誘致の進捗状況についてお伺いします。3 防災公園付近の商業施設誘致の進捗状況についてお伺いします。4 地元住民にとって具体的にどのような効果があると考えていますか。		